



## 地震発生の仕組み

プレートには「海のプレート」と「陸のプレート」の2つがあり、海のプレートが陸のプレートの下に少しずつもぐり込んでいます。その境目に生まれる力が地震の原因です。



ひずみを溜め込んだプレートが跳ね返って起こる

### 海溝型地震

海のプレートが陸のプレートの下にもぐり込む場所は、絶えずひずみを蓄積しています。ひずみに耐えられなくなった陸のプレートが元の位置へ戻ろうと跳ね返ります。このときに起こる大きな地震を「海溝型地震」と呼びます。

内陸部の弱い地盤にすれ(断層)を起こす

### 内陸型地震

2つのプレートがぶつかり合って生まれる大きな力は、プレートの境界から離れた内陸にも影響を及ぼします。そこで蓄積された大きな力は、やがて地下の地盤の弱い部分にすれ(断層)を生み、それが「内陸型地震」を引き起こします。

## 京都市周辺の活断層

